

一般質問

8月29日、30日の本会議で、18人の議員が、市政全般について一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。

調布飛行場における 自家用機飛行再開を認めるな



伊沢 けい子 議員

議員 都は調布飛行場の自家用機運行自粛要請を9月上旬頃に解除したい旨の方針を示した。空港管理者として都の責任の所在が明らかになっていない中で、自家用機飛行再開を認めるべきではない。見解を伺う。

市長 都が空港を管理運営しており、再開は都の判断となる。しかし、本市としては、徹底した安全確保を引き続き都に求めていく。

議員 都と本市との協定書では、自家用機は積極的かつ計画的に分散移転させることである。協定どおり分散させ、ゼロにすべきだ。

市長 速やかに分散移転を進め、自家用機使用の撤廃に向け取り組むよう、今後とも都に強く要請していく。

子育て安心し暮らせるまちづくりを



野村 羊子 議員

議員 本市における障がい者差別解消のための条例制定について所見を伺う。

市長 現時点で当該条例の制定は考えていないが、障がい者就労の現状をより良

制度の創設について伺う。**教育長** 新たな支援制度については現時点で考えていないが、今後、合理的配慮の充実、工夫について、更に検討していきたい。

議員 東京外郭環状道路整備事業において、地表への影響が出ないはずの深層地下を使用した工事に際し



工事が進む中央ジャンクション（仮称）

て、当該工事現場近くの野川等で地下水が流出したり、気泡が噴出したりするなどの問題が発生した。所見を伺う。

議員 東京外郭環状道路に係るトンネル工事の緊急時の連絡体制について伺う。

市長 緊急時には事業者、工事関係者から市民、警察署、消防署、自治体等が連絡を受けることとなっている。詳細な対応は、今後、関係者間で協議していく中で検討していきたい。

会計年度任用職員制度 創設に伴う諸課題を問う



嶋崎 英治 議員

議員 2020年4月から法改正により、臨時・非常勤職員等は「会計年度任用職員」に移行する。任用に当たり、雇用期間は年度内で最長1年間、毎回1か月の条件付き採用期間があると聞く。再度の任用についても条件付きとなるのか伺う。

市長 任用期間、勤務日数及び勤務時間数の長短や、勤務実績の有無にかかわらず、全て条件付き採用の対象となり、省略できない。

議員 国は公募選考を原則としているが、選考時における公募によらない任用の可否について所見を伺う。

市長 再度の任用については、従前の勤務実績に基づ

空き家の利活用に取り組み 市民満足度の向上を



伊東 光則 議員

議員 近年、市内の空き家における樹木・雑草の繁茂、建物の老朽化等の管理不全に関する相談が多く寄せられている。市は平成24年度と29年度に空き家の実態調査を行っているが、どのような違いがあるのか伺う。

市長 両年度とも市内全域を対象とし、建物の外観目視により実施したが、29年度は水道の開栓情報も活用した。今後も必要に応じ実態調査を行っていききたい。

議員 調査結果を受けて、市内の空き家の利活用に関する要望について、どのように認識しているか伺う。

市長 24年度調査で実施した空き家所有者へのアンケートでは、リフォームに対する支援や有効活用に関する情報提供を求める回答も一定数見られたが、所有者から市に対し空き家の利活用を進めていききたい。

保育園の入園状況を検証し 適切な保育施策の実現を



土屋 健一 議員

議員 的確な保育施策の実施には、正確な保育ニーズ等の把握が必要だ。待機児童の発生原因など現状分析や今後の取り組みについて、本市の所見を伺う。

市長 現段階では平成32年度をピークに減少すると推計している。今後の保育ニ

ではないが、条例に定めること職員においても予定しているが、可能だと認識している。

議員 保育園申し込みに対して落選を伝える自治体の入所保留通知書等があれば、育休を延長できる。倍率の高い保育園だけ申し込み

がんになっても 働き続けられる社会を



小俣 美恵子 議員

議員 現在、がんは国民の2人に1人がかかる身近な病気となった。市のがん検診の受診率を高めるためには、市民への一層の周知が必要と考える。所見を伺う。

市長 健康ガイドみたかの全戸配布や広報等により周知している。また、健康診査とがん検診との同時受診の導入は、受診率向上に有効な取り組みと考えている。

議員 がん検診断されたことのある人「がんサバイバ



胃がん集団検診の検診車

存在が重要と考える。コオーディネーター養成の取り組みについて所見を伺う。

市長 重要な取り組みであり、関係機関との連携強化等が大切と認識している。

議員 がん患者が普通の暮らしを送るため、患者同士が悩みを話し合い、支え合う「ピアサポート」という活動がある。所見を伺う。

保健医療担当部長 普及に